

公園計画

みんなが主役になれる公園

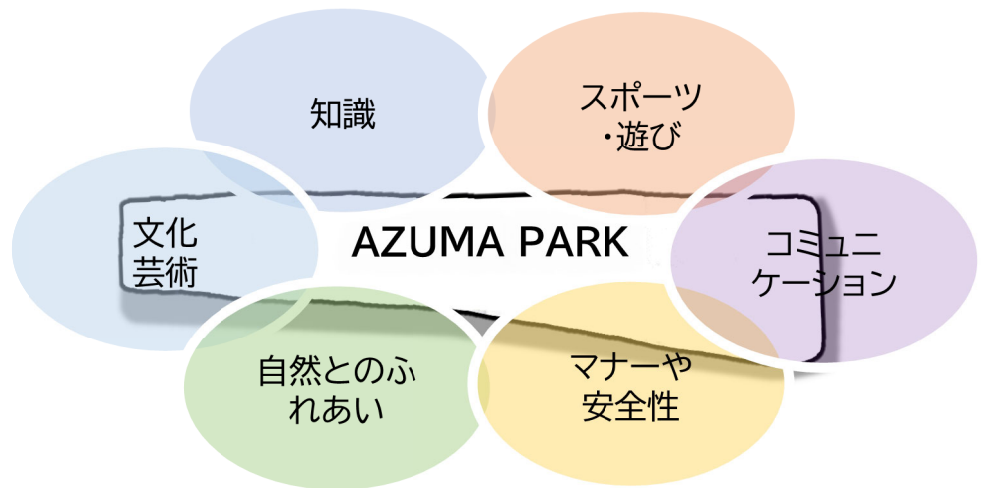
学びと交流の場となる
公園をつくる

多様な体験の場となる
公園をつくる

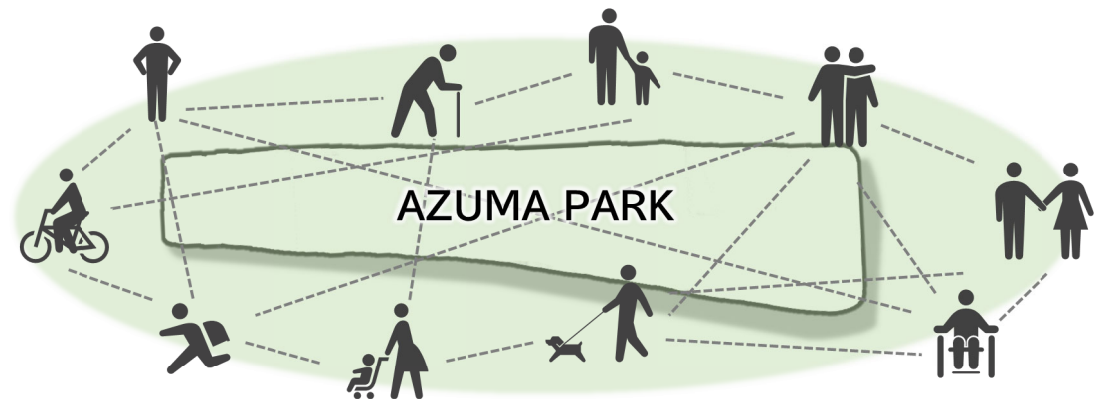
日常的な場所でありながら、
ちょっとした非日常を体験
できる公園をつくる

方針①：学びと交流の場となる公園をつくる

- ここを訪れるすべての人が、自然とのふれあい、文化芸術、知識、スポーツなど、様々な学びを得る公園をつくる

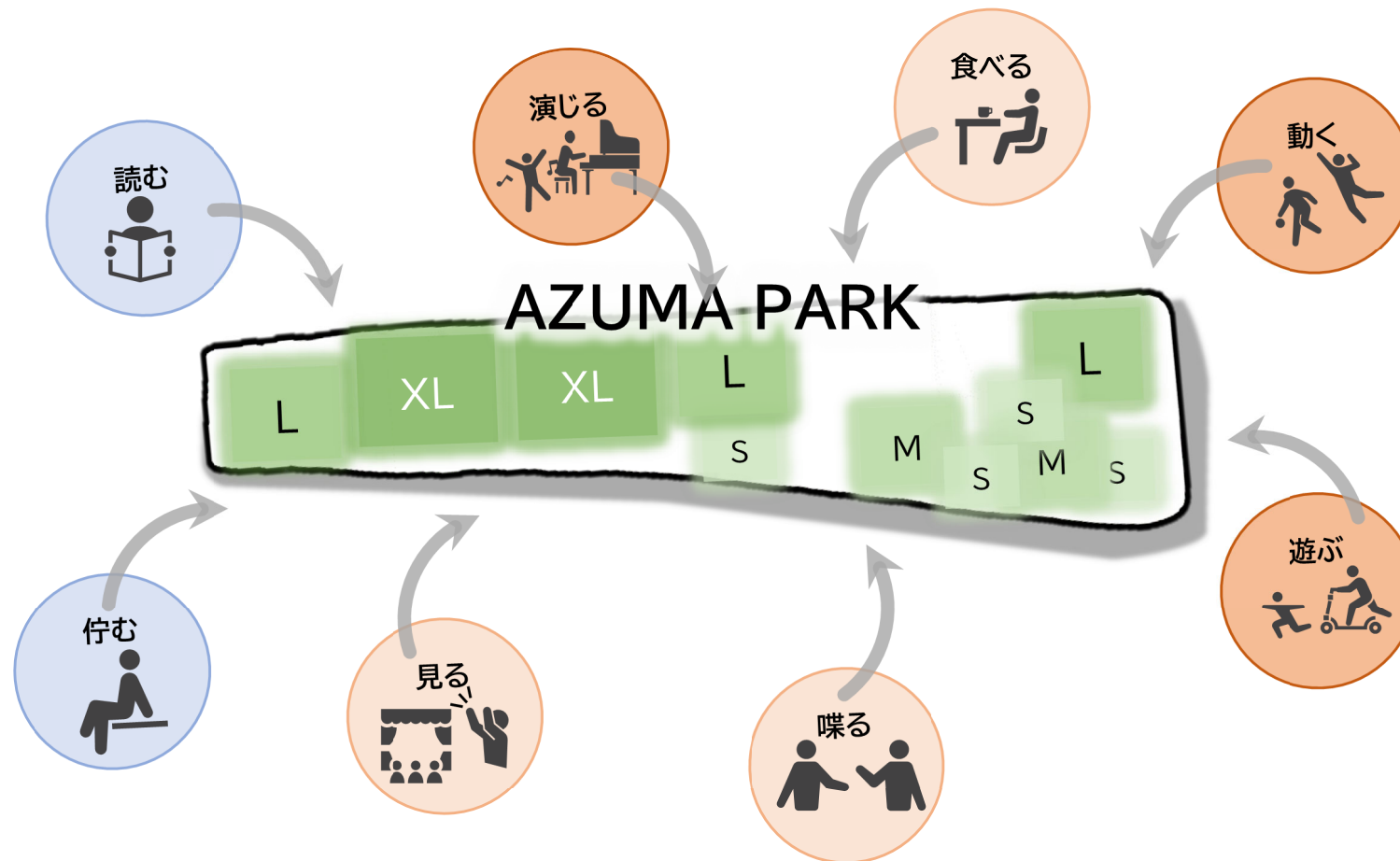


- 属性や立場を問わず、ここを訪れるすべての人々が居心地よく休むことができたり、仲間と楽しく交流することのできる公園をつくる



方針②：多様な体験の場となる公園をつくる

- 見る、読む、食べる、遊ぶなど、様々な体験や活動が行われる
大小さまざまな場を展開する。



方針③：日常的な場所でありながら、 ちょっとした非日常を体験できる公園をつくる

□日々の散歩、勉強など、日常的な公園でありながら、ときとして特別な体験ができる場を提供する

日常

「憩う」「なごむ」「学ぶ」

散歩／読書／学習／お茶する
おしゃべり／デート



ちょっとした
非日常

「体験する」「発見する」

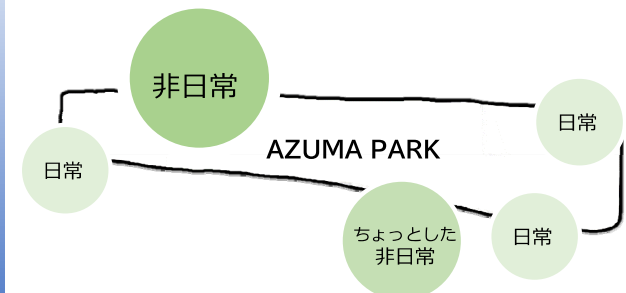
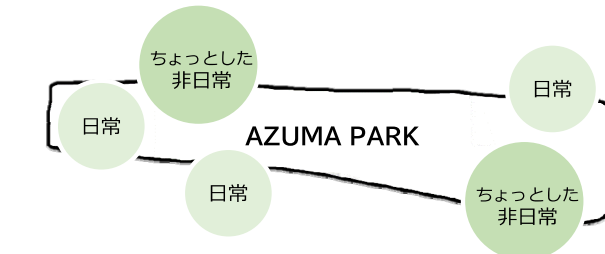
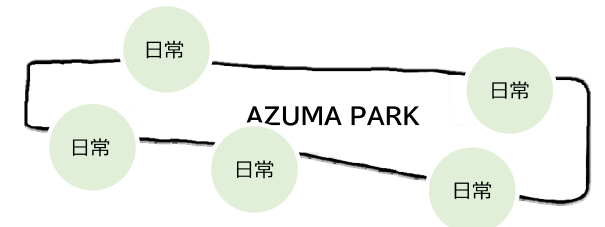
展示会／オフ会／花見



非
日常

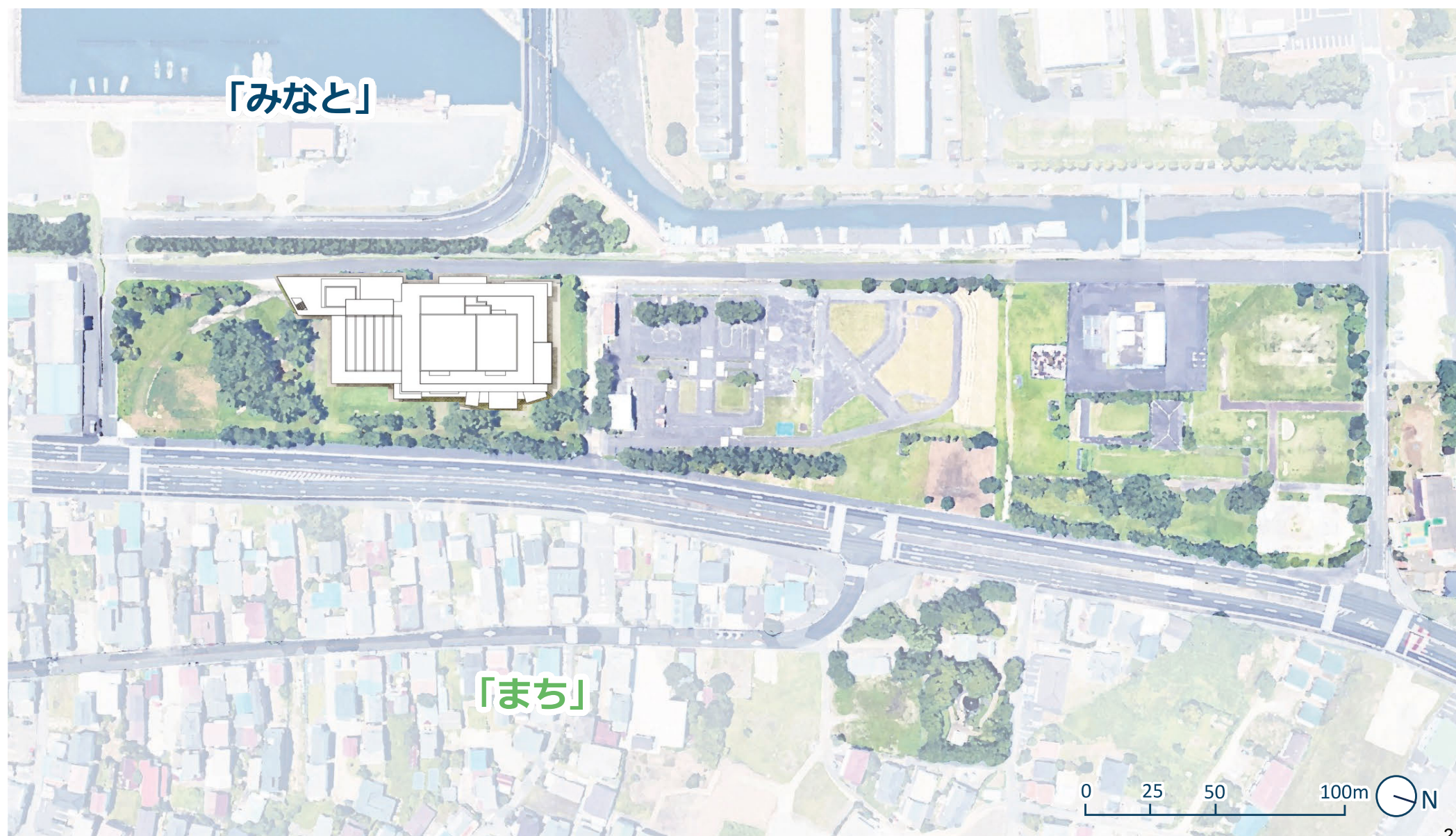
「感動する」「ワクワクを味わう」

地域ぐるみの大規模イベント
／発表会／花火大会



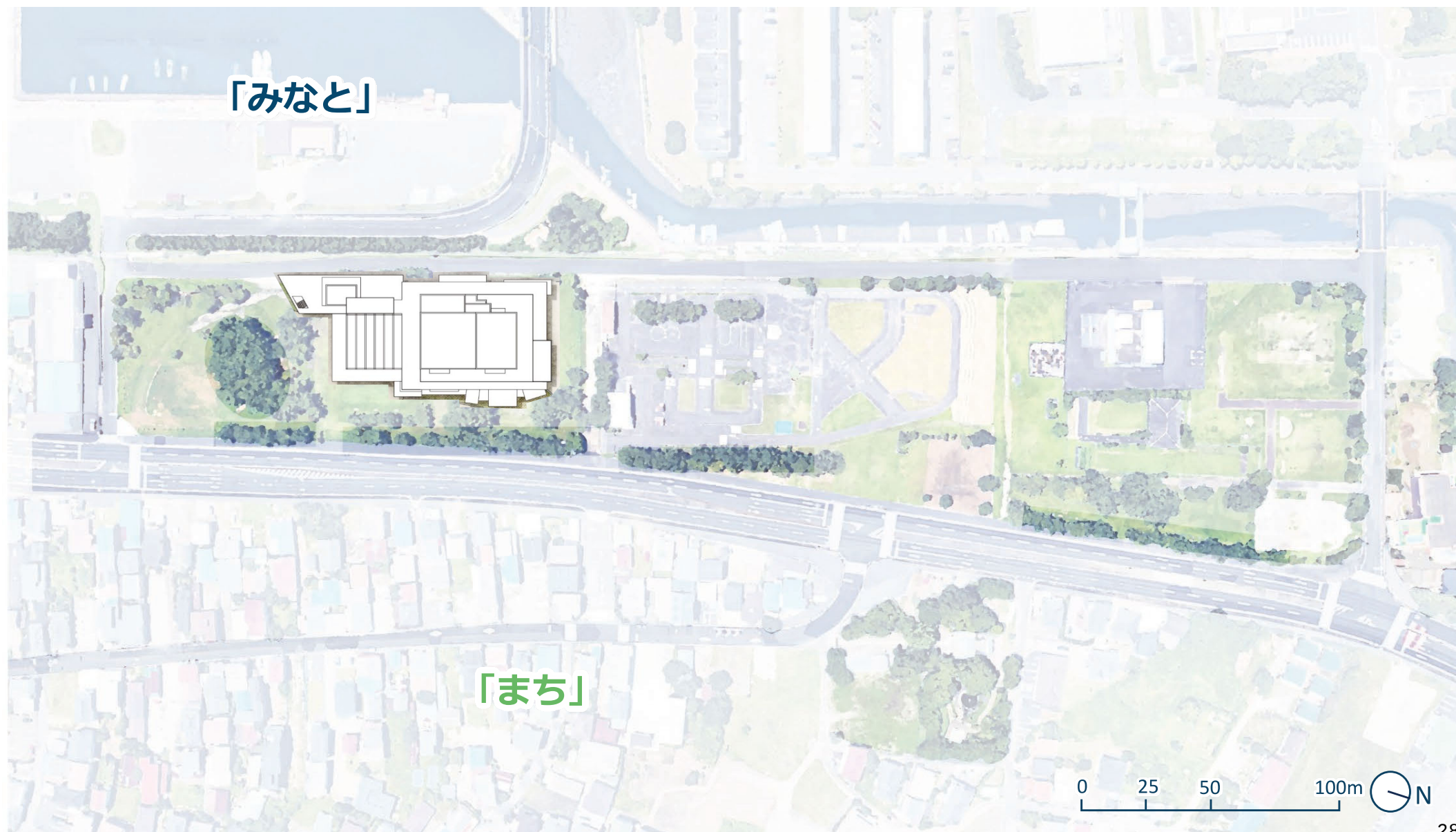
公園の空間構造

文化芸術施設は、海への眺望を最大限享受する位置に



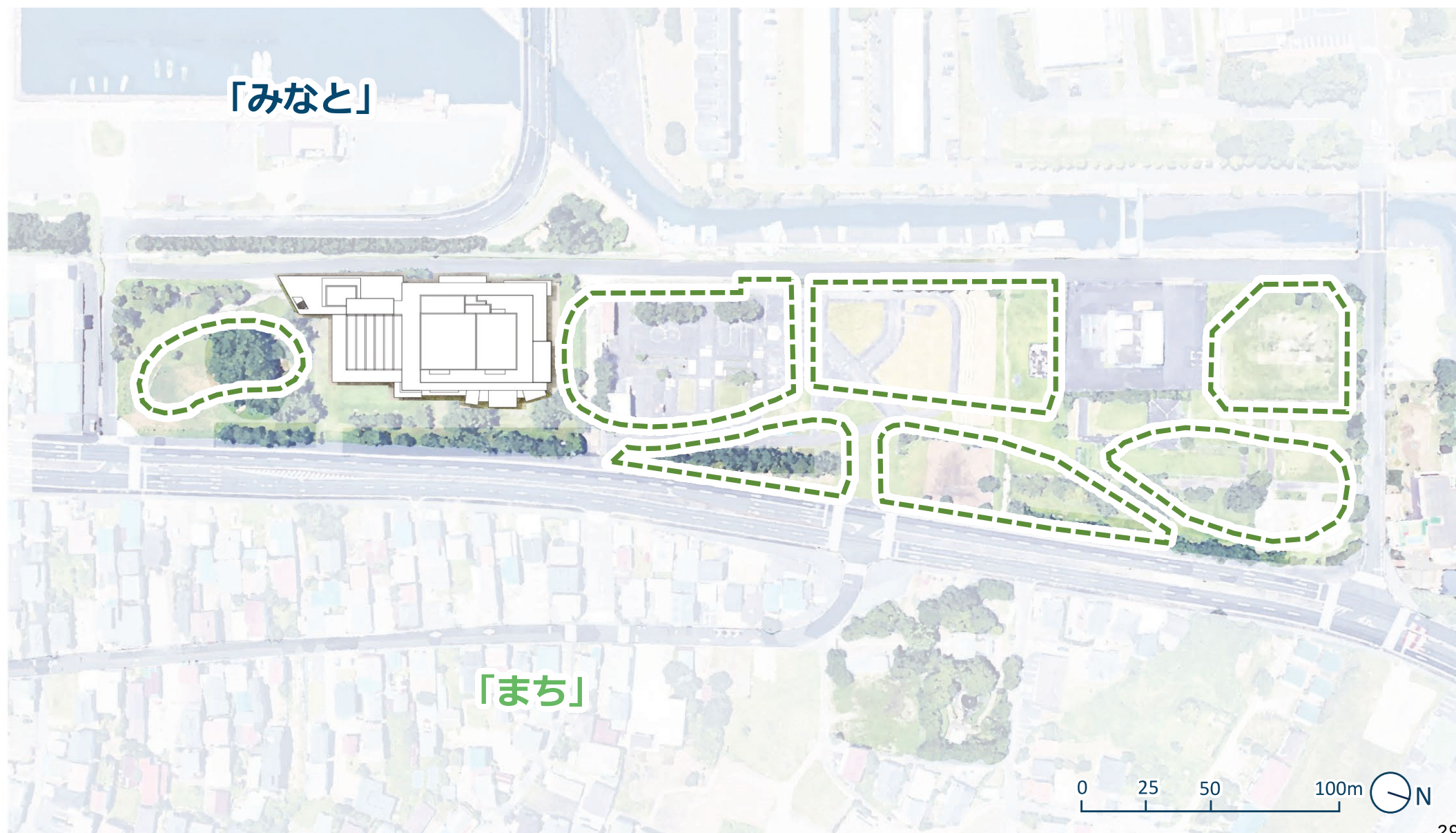
公園の空間構造

既存のクロマツをできるだけ残し、その風景を継承する



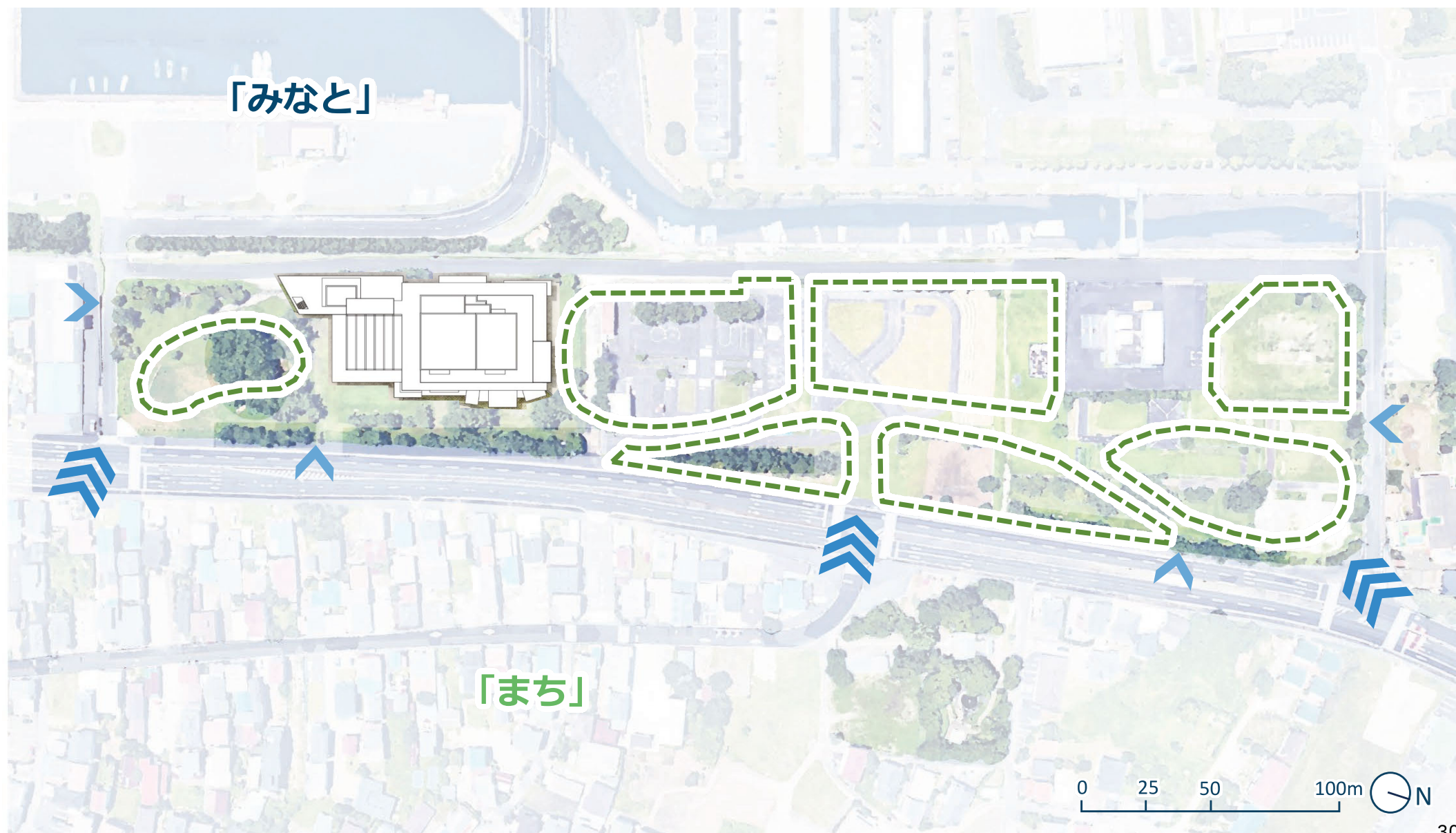
公園の空間構造

公園全体に広がる活動の場を配置する。



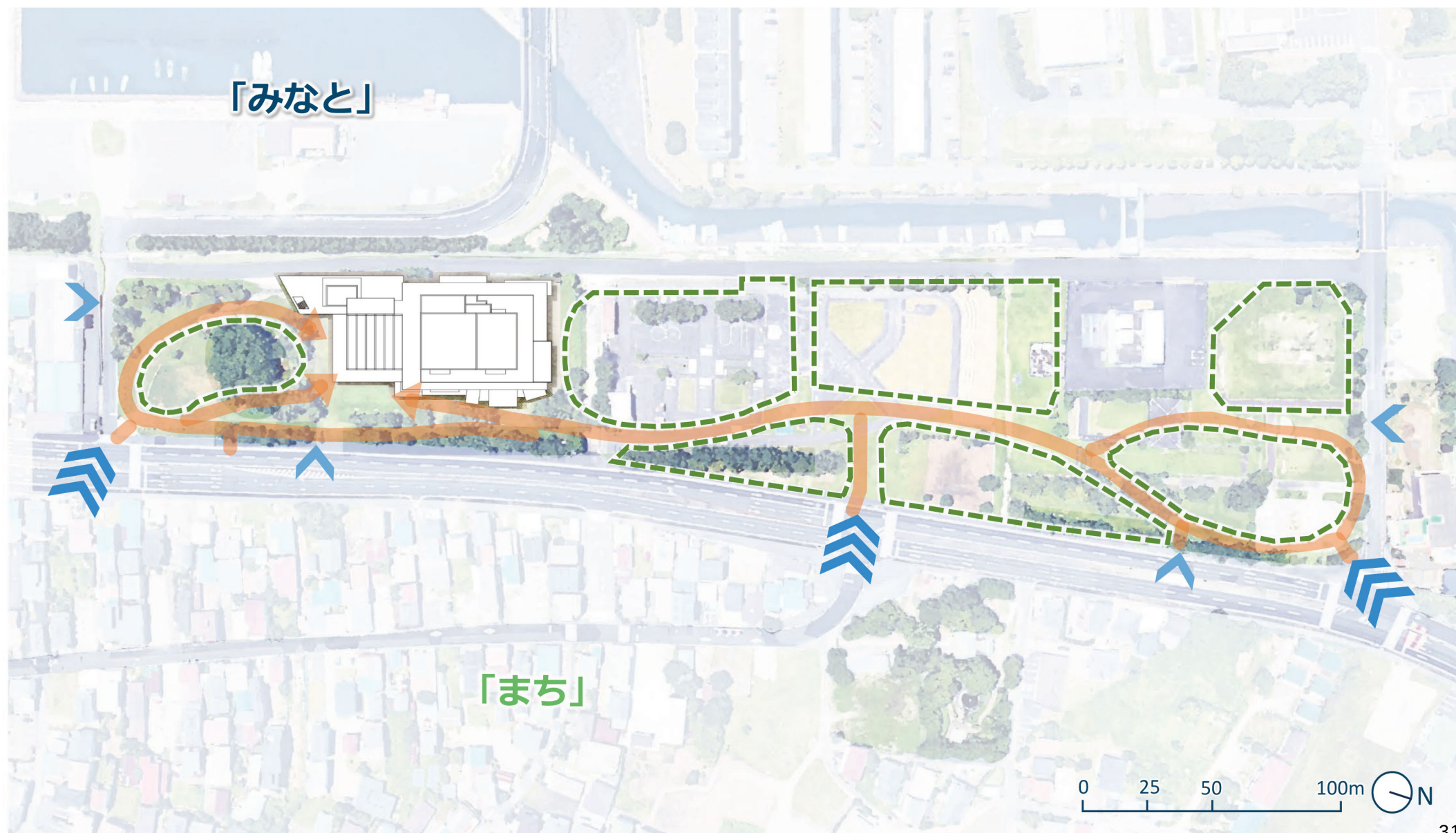
公園の空間構造

公園の中央と南北に配置する3ヶ所のメインエントランスと4ヶ所のサブエントランス



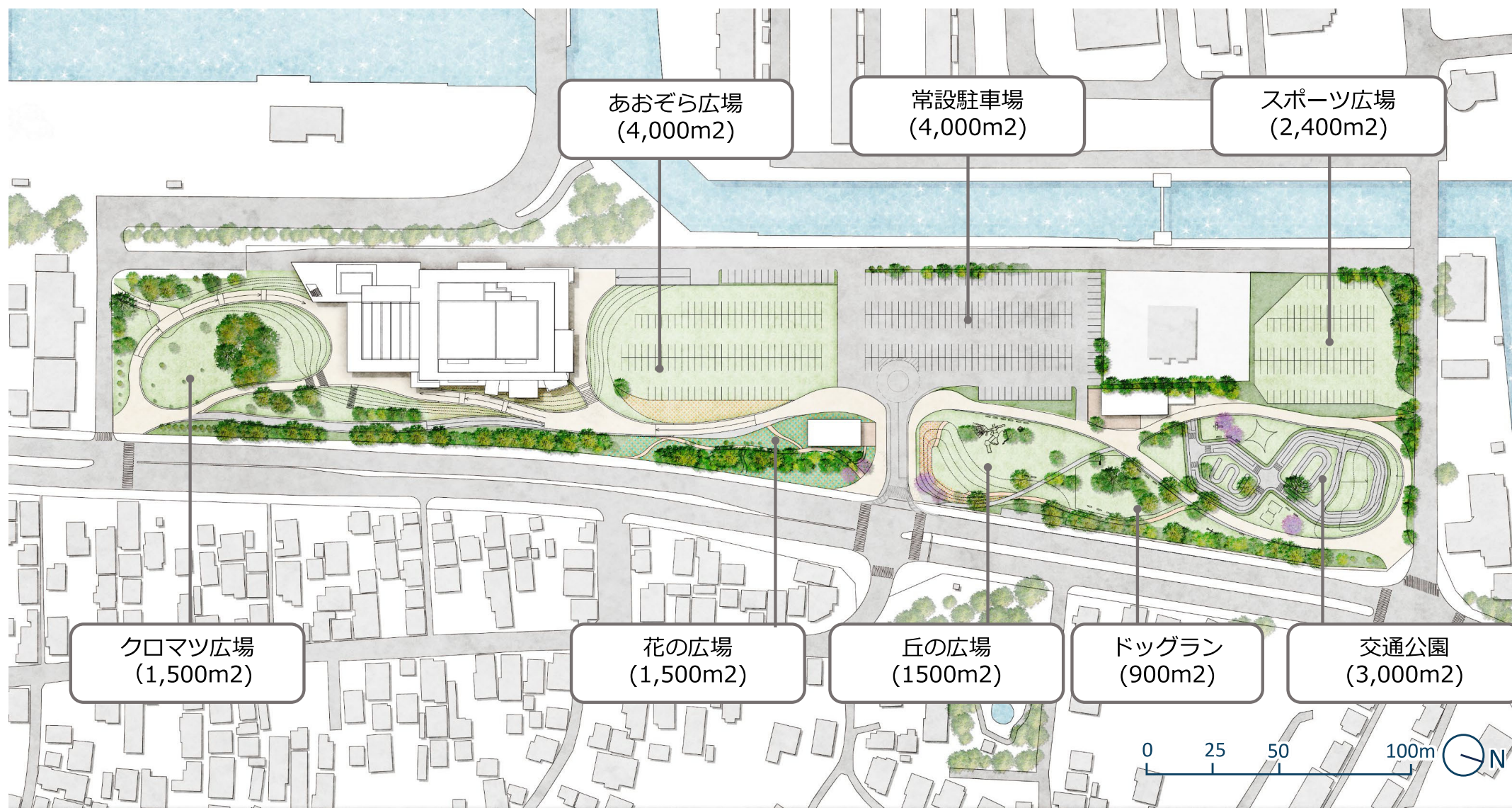
公園の空間構造

メインエントランスから文化芸術施設へと導き、各広場にアクセスする園路を設ける



公園の空間構造

公園全体配置平面図

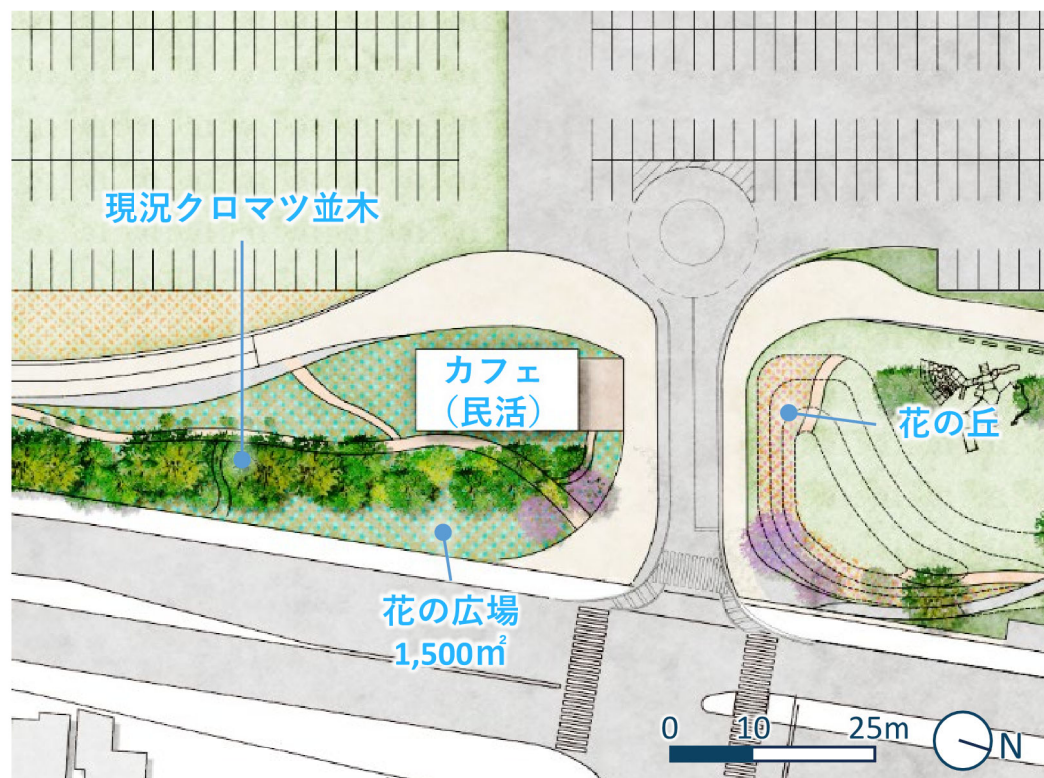


エリア毎整備方針

メインエントランス 花の広場／花の丘

整備方針

- ・公園エントランスとして花木が広がる空間（1,500m²）
- ・南側は四季を楽しむ空間として駐車場から文化施設までのアプローチを整備
- ・北側は起伏のある花咲く丘を設け、出入口の南北で一体的なエリアとする
- ・民間活用としてカフェ整備を提案
- ・現況クロマツ並木を可能な限り保全



アクティビティイメージ

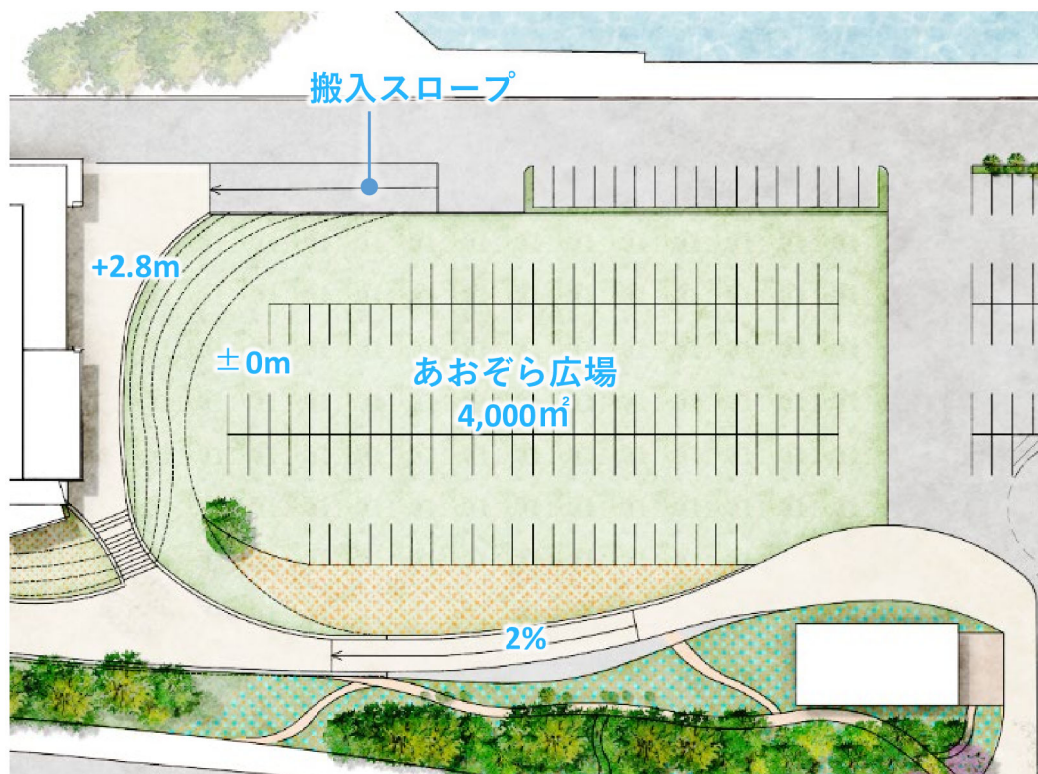
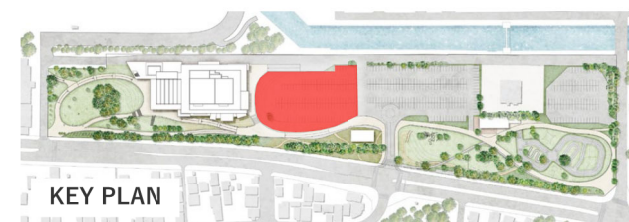


エリア毎整備方針

あおぞら広場

整備方針

- ・ 公園内最大の広場（4,000m²）
- ・ 音楽フェスやフードフェスなど大規模イベントも催行可能
- ・ 市民参加型で育てていくまちの広場として大らかな空間を確保
- ・ ホールでのイベント時は仮設駐車場（130台）として活用



アクティビティイメージ

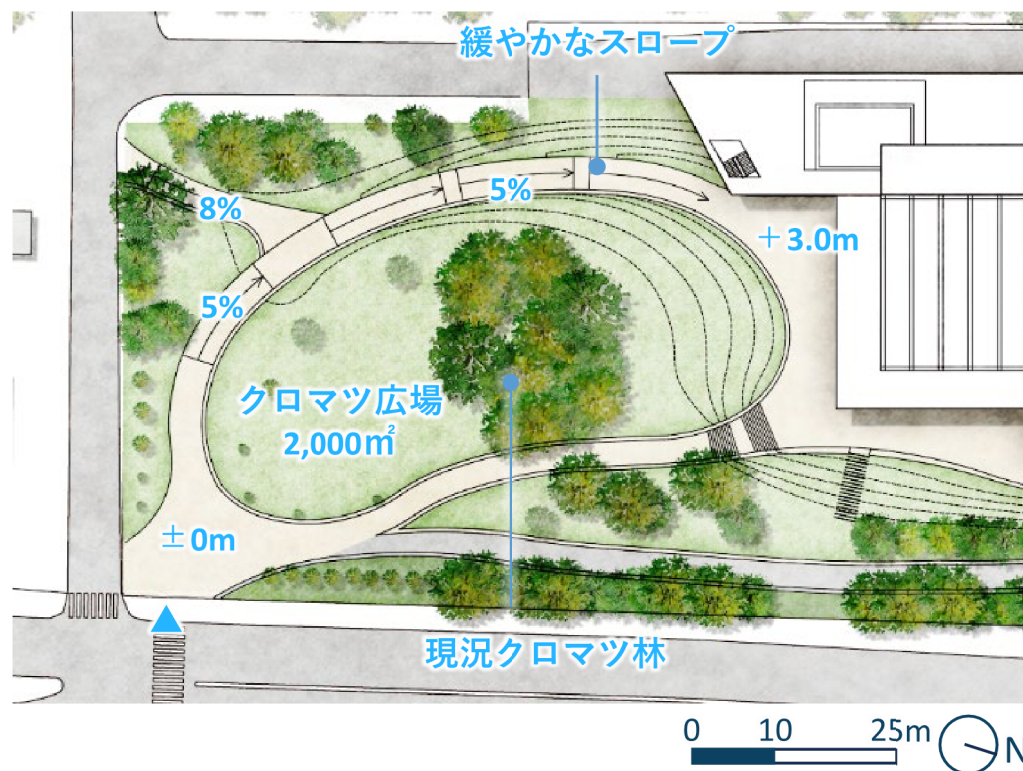


エリア毎整備方針

クロマツ広場

整備方針

- ・まちに対して開けた南側のエントランス
- ・+3mの大屋根広場へはバリアフリー動線として緩やかな勾配のスロープ
- ・スロープ幅員4m以上（キッチンカーも通行可）
- ・現況クロマツを可能な限り残す
- ・500m²の広場は静かな落ち着いた空間



アクティビティイメージ

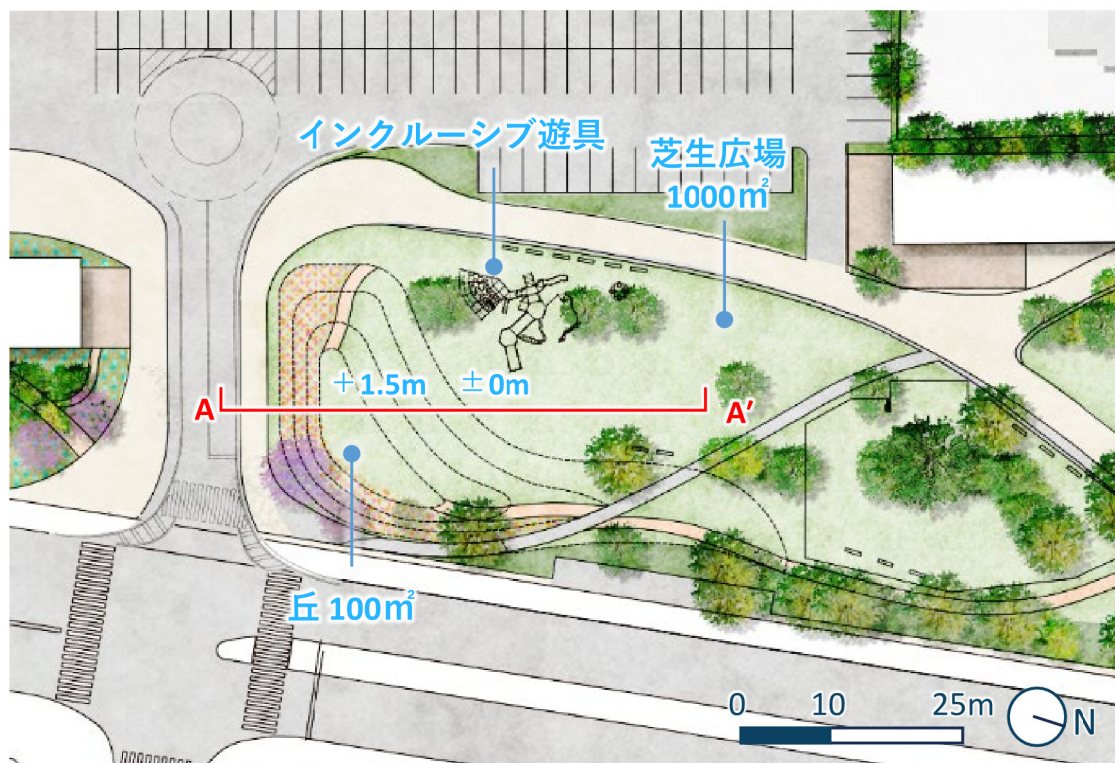


エリア毎整備方針

丘の広場

整備方針

- ・子どもたちがのびのびと駆け回る小高い丘に囲まれた芝生広場
- ・インクルーシブ遊具を新設配置



アクティビティイメージ



エリア毎整備方針

ドッグランと管理施設

整備方針

- ・公園の北側の拠点としてのクラブハウス、ドッグランを配置
- ・交通公園とドッグランの管理機能を完備
- ・民間活力を活用した飲食施設の導入を検討

民活用地①：クラブハウス（管理棟）

機能：現在の管理休憩棟の主要諸室(※)

カフェ

屋外トイレ

面積：175m²(※)を最低限確保する。

民活用地①
650m²

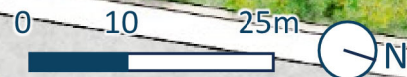
クラブハウス
(管理棟)
250m²

ドッグラン

民活用地②：ドッグラン

面積：約900m²

民活用地②
900m²



アクティビティイメージ



カフェで談笑



松の並木道を夫婦で散歩



ドッグランで犬と遊ぶ



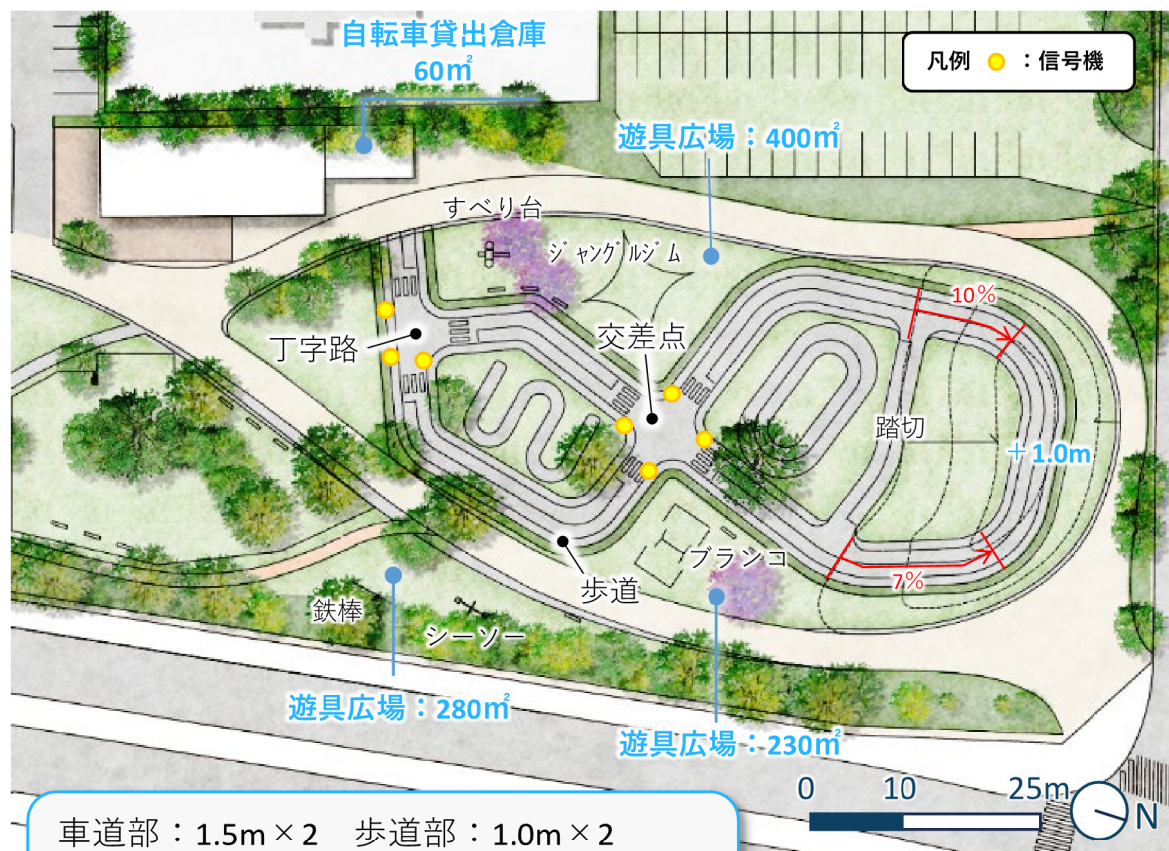
芝生の上でピクニック

エリア毎整備方針

交通公園

整備方針

- ・現在の交通公園を再整備
- ・児童が交通ルールを学び、乗り物の練習をできる空間
- ・交通安全教室の開催
- ・遊具広場には既存遊具を配置



車道部：1.5m×2 歩道部：1.0m×2
境界部：低木植栽（約1.0m,高さ0.5程度）
横断防止柵（高さ0.8m程度）



アクティビティイメージ

